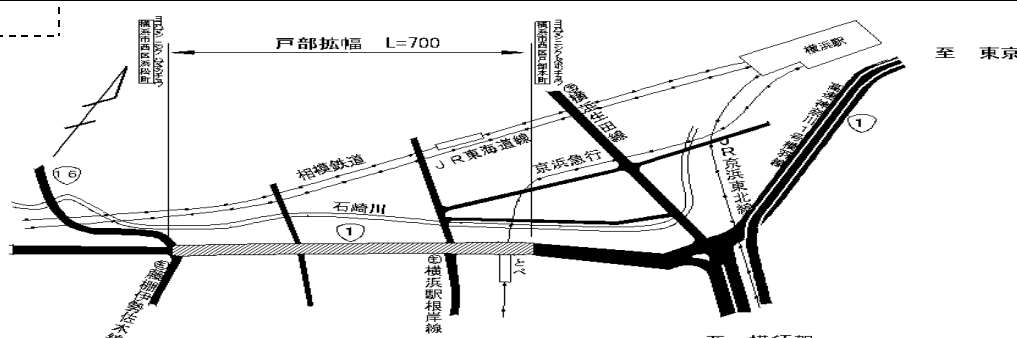


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道1号戸部拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：神奈川県横浜市西区戸部本町 至：神奈川県横浜市西区浜松町				延長	0.7 km
事業概要	一般国道1号は、東京都中央区日本橋を起点とし、横浜市、小田原市、清水市、名古屋市、四日市市および京都市を通過し、大阪市に至る延長約570kmの主要幹線道路である。本事業は、交通円滑化、沿道環境改善を目的として京浜急行線戸部駅から国道16号との浜松町交差点までの延長約700mの区間を4車線から6車線に拡幅するものである。					
S59年度事業化	S21年度都市計画決定 (S27年度変更)	S62年度用地着手	H3年度工事着手			
全体事業費	約250億円	事業進捗率	76%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	68,300~70,600台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.3 (残事業) 17.7	総費用：(残事業)/ (事業全体) 41/310 億円 (事業費：38/307 億円) (維持管理費：3/3 億円)	総便益：(残事業)/ (事業全体) 727/727 億円 (走行時間短縮便益：702/702 億円) (走行費用減少便益：23/23 億円) (交通事故減少便益：2/2 億円)	基準年：平成15年		
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。） ・物流効率化の支援（特定重要港湾横浜港へアクセス向上が見込まれる）					他11項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	戸部拡幅事業区間は、交通の円滑化、沿道環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、横浜市の長期ビジョンや基本計画が策定されているゆめはま2010プランに早期整備が示されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成13年10月に首都高湾岸線が全線開通するなど、周辺交通量が増加し、横浜市内の交通渋滞はますます深刻化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	一部において用地補償協議が難航しているが、全体の約88%を用地取得している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き用地取得を促進し、平成16年度より早期に整備効果が発現する箇所から順次段階的に整備を行い、平成19年度完成を予定している。					
施設の構造や工法の変更等	コスト縮減に資する調達方法の採用は新技術の積極的活用導入など、コスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。